

## BIOME Kobe Kanjiru (Art) 展覧会 貴島 雄太朗 硝子作品個展のご案内

アートギャラリーのようでギャラリーではない –  
“A gallery, but not a gallery” をコンセプトにした、神戸の「BIOME (バイオーム)」(以下「BIOME」)  
よりご案内です。

毎年訪れる削紋硝子との時間。  
「切り子と呼ばないのは、細工の凄みを謳うより、削ることが意味を示すのではなく、造形、でありたいと思うからです」と語る貴島 雄太朗氏。2019年から続いている BIOME お馴染みの展覧会が、2022年を締めくくります。

透明さと不透明さが放つ、独特な輝き。潔さから生み出された上質なフォルムは、温度を選ばず、すべてを受け入れてしまう覚悟みたいなものが、私たちを魅了するのではと思っています。  
2022年は、富みに、動きが止まる様子がなかった貴島氏。これまでと、これからの活動を愉しんでいただけの作品が多く集まります。ウインターシーズンに向け、お気に入りの削紋硝子をぜひ見つけにいらしてください。

### 貴島 雄太朗 硝子作品個展

2022年11月5日(土)～13日(日)  
12:00 - 17:30 (最終日は15:00 閉廊)  
水曜日休廊

- ・アーティストの在廊については、ホームページやSNSなどでご確認ください。
- ・約50点のご紹介を予定しています。



貴島雄太朗 作

貴島 雄太朗 Yutaro Kijima

ガラスアーティスト  
1964年 東京都生まれ 東京在住

明治大学商学部 卒業  
武蔵野美術大学スペースデザインコース 卒業

1992年 損害保険会社勤務のかたわら、吹きガラスをはじめ  
1994年 Pilchuck Glass School 参加  
1995年 Lino Tagliapietra 氏及び Rudy Gritch 氏により Best Student にノミネート  
1996年 青樹舎硝子工房設立・主宰

